

繁多川だいいあい

2023年 6月号 NO.210

発行：那覇市立繁多川図書館

〒902-0071 那覇市繁多川 4-1-38

TEL：098-917-3455

FAX：098-853-6010

E-mai：lib-hanta-01@nirai.ne.jp Web：<http://www.city.naha.okinawa.jp/lib/>



戦後78年

6月23日 沖縄慰霊の日

78年前の6月23日に、太平洋戦争末期に沖縄県民を巻き込んだ地上戦が終結しました。

沖縄県では、沖縄戦の終結の日を、沖縄戦の戦没者の霊を慰め平和を祈る日「慰霊の日」として県の条例で記念日に定め、毎年糸満市摩文仁(まぶに)の「沖縄平和祈念公園」において、沖縄全戦没者追悼式を執り行います。沖縄県全域では正午の時報とともに鳴るサイレンにあわせて1分間の黙禱を捧げ、戦没者を追悼する沖縄県民にとっては大切な日となっています。

その沖縄慰霊の日に併せ、繁多川図書館でも資料展示や講演会を始め、平和をテーマにした様々な特集を執り行います。詳細は4ページに記してありますので、みなさんぜひおこし下さい。

6月のメイン特集

5月18日(木)～6月13日(火)まで

「DIYに挑戦」



びよびよおはなし会

☆7日・14日・28日(水)☆

☆午前11時～11時30分

☆繁多川図書館 おはなしのへや

☆無料・申込不要

☆対象：乳幼児とご家族の方

6月の読み聞かせ絵本 特集

6月1日(木)～6月29日(木)まで

「平和」

「父の日・家族」



おはなし会

☆10日(土)☆

☆午前11時～11時30分

☆繁多川図書館 おはなしのへや

☆無料・申込不要

☆対象：どなたでもご参加いただけます



新着資料

児童書

- 赤ちゃん絵本 ▲幼児・児童絵本 ★児童（絵本以外）
◆YA（ヤングアダルト・・・中高生向け）

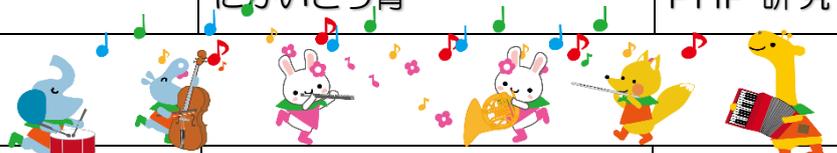


資 料 名	著 者 名	出 版 者
● なにに なれちゃう？	チョーヒカル//さく	白 泉 社
● ひ・る・ご・は・ん！	武田 美穂//作	ほるぷ出版
▲ アントンせんせい こまったときは おたがいさま	西村 敏雄//作	講 談 社
▲ 1まいの がようし	長坂 真護//作	あかね書房
▲ この本は よまれるのが きらい	ダビッド・サンデン//作	す ば る 舎
▲ ちいさい おねえちゃん	いとうみく//作 えがしらみちこ//絵	岩 崎 書 店
★ 読書ってこんなに楽しいの？ 齋藤孝流とっておきの本の読み方	齋藤 孝	小 学 館
★ ADHDのあるわたしの毎日	マリ・シュー	大 月 書 店
★ 屋根のうえのバトンリレー	横塚 真己人//写真・文	ほるぷ出版
★ おばけのアッチ チとキがない！	角野 栄子	ポ プ ラ 社
★ 願いがかなう自動はんばいき のらねこライセンス	山口 タオ	童 心 社
◆ 先生！ダメダメな私を2時間で仕事できる風にして下さい！	諏内 えみ	KADOKAWA
◆ 10代のためのココロとカラダの整え方	吉田 誠司//監修	メイッ出版
◆ ちとせ	高野 知宙	祥 伝 社
◆ 黒み生徒会執行部	にかいどう青	PHP 研究所

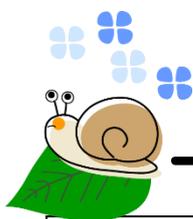


CD・DVD

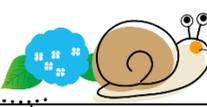
★マークはDVDです。



資 料 名	歌 手 名（発売者）	資料コード
ライブ	反田恭平//ピアノ演奏	0830051813
沖縄からの風～沖縄から生まれた名曲たち～	オムニバス	0830051864
Rainy Jazz	オムニバス	0830051481
コレナンデ商会 サイコー	川平慈英 他//歌	0830051805
★ ファーザー	フロリアン・ゼレール//監督	0830052348
★ 大怪獣バトル ウルトラ銀河伝説	坂本浩一//監督	0830052054



一般書



ジャンル	資 料	著 者 名	出 版 者
電子工学	メタ産業革命	小宮 昌人	日 経 B P
心理学	心理学者の考え方	ドナルド H. マクバーニー	新 曜 社
人生訓	私はすべて自分で決める。	チェ フン	ダイヤモンド社
人生訓	コトバのギフト 輝く女性の100名言	上野 陽子	三 笠 書 房
旅行	ピエール瀧の23区23時	ピエール瀧	産業編集センター
ビジネス	上司のやっではいけない!	内海 正人	カメリア・パブリッシング イソリス
ビジネス	日本でいちばん大切にしたい会社	坂本 光司	あ さ 出 版
教育	わが子が「学校に行きたくない」と言ったら	大久保 俊輝	モロロジー道徳教育財団
経済	株は銘柄選びが9割	長田 淳司	双 葉 社
経済	はてなの国際法	岩本誠吾・ 戸田五郎	晃 洋 書 房
医療	マンガでわかる認知症	内門 大丈//監修	池 田 書 店
料理	ごはんには化けるズレイおつまみ	藤岡 操	EDITORS
スポーツ	人は何歳まで走れるのか?	南井 正弘	集 英 社
小説	悪と無垢	一木 けい	KADOKAWA
小説	定価のない本	門井 慶喜	東 京 創 元 社



郷土資料



久米島町誕生 20年の歩み	久米島町史編集委員会	久米島町役場
復帰と沖縄美術 復帰50年コレクション展	岡本由希子・ 大城さゆり//編	沖縄県立博物館・美術館
伊差川新・歩んできた道	伊差川 新	伊差川洋子染色工房
絵で見る沖縄の民族芸能	漢那 瑠美子	沖縄文化社
手遊び 草編み玩具 シリーズ別巻 草ひも	新崎 宏	新星出版(株)

★ 上記以外の新着資料もございます。くわしくは右のQRコードを読み取り下さい。
★ 貸出中の際は、予約も可能です。ご来館の際に職員へお声かけください。



繁多川図書館

慰霊の日 関連企画

図書資料の展示

「平和を祈る」

6月14日(水)～29日(木)

図書館内

「沖縄戦」「平和」に関する図書資料の展示・貸出

ロビー展示

「繁多川地域の戦跡」

6月14日(水)～29日(木)

繁多川図書館1階ロビー

地域に残る戦跡(ガマ)のパネル紹介

フィールドワーク

繁多川地域の戦跡(ガマ)巡り

6月18日(日) 午前10時～12時ごろまで

集合場所：繁多川公民館・図書館広場

定員：20名程度 ※事前申込が必要です。

申込期間：5月29日(月)～6月12日(月)

※ただし、定員になり次第申込みを締め切ります。

申込先：繁多川図書館：917-3455

繁多川公民館：917-3448

※ または直接窓口でも申込みできます。

地域に残る戦跡(ガマ)、シキナグウヌガマ・シッポウヂヌガマを訪れ、戦時を偲びます。

講演会

学童疎開船「対馬丸」生存者

平良啓子 さん 講演会

9歳の私にふりかかった事 対馬丸を語る

6月17日(土)

午前10時30分～11時30分

会場：繁多川公民館 3階ホール

定員：40名ほど

※ 申込不要、参加無料

「慰霊の日」特別おはなし会

6月24日(土)

午後2時00分～2時30分

繁多川図書館 図書館前広場

※ 申込不要

お問い合わせ

繁多川図書館 917-3455



～～ 本のある風景 ～～

[NO. 89]

『やってみよう!むかしのあそび7 お手玉』

日本のお手玉の会/監修 ポプラ社 2016 年 出版

4月23日～5月12日までこどもの読書週間が行われる。繁多川図書館では毎年この時期に「春のわくわくおはなし会」を行う。絵本や紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行ってきたが、今年は「絵本の読み聞かせとお手玉であそぼう」を企画した。

日本お手玉の会 沖縄支部いしなぐの会の玉那覇清子さんを講師にお手玉遊びを楽しんだ。

玉那覇さんは「親は子に何を伝えるのか～温もりを伝えよう 手から心へ」と話され、「お手玉はいつでもどこでも、子どもからお年寄りまで一緒に遊べます。沖縄のすばらしいわらべ歌をうたいながら親の温もりをたっぷりと伝えてほしい」と手作りのお手玉を参加者にプレゼントし、遊びを伝授した。親子で「ちょうだい・はいどうぞ・ありがとう」と言葉をかけあいながらお手玉を手渡す。頭にお手玉をのせ「てっぺん登って、お池にはい」や「どんぐりころころ」「おすんでひらいて」を歌いながら両手交互に受け渡しを繰り返し、お手玉を上に向けてキャッチ、お手玉を落とさないように集中しながら体を動かすなど参加者は四苦八苦しながら挑戦していた。玉那覇さんは「一緒に歌いながらの遊びは親の温もりを身近に感じ、それが思い出になり、子どもたちへ伝承されていってほしい」と締めくくった。

図書館には『お手玉いくつ』や『おてだまのたね』『お手玉』などある。

『お手玉いくつ』はお手玉作りが大好きでお手玉遊びの名人でもある花代おばさんの集団疎開の話。お母さんが作ってくれた大豆入れのお手玉。おなかが減るとその大豆を一粒ずつ出して食べたことや友だちのキヌちゃんとの悲しい思い出。おばさんは「これからの子どもたちにはあんなひもじい思いをさせたくないね」という。きれいなお手玉のイラストに花代おばさんの平和への思いを感じる。

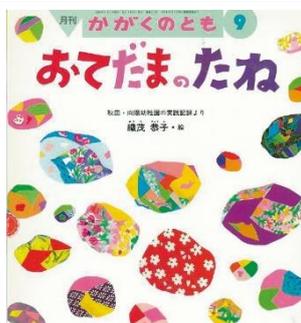
『おてだまのたね』『お手玉』はお手玉の歴史や作り方、遊び方が紹介されている。

この機会にぜひ、手に取って親子でお手玉作りや遊びにチャレンジしてもらいたいと思う。

【山内 淳子 沖縄県子どもの本研究会】



『やってみよう!むかしのあそび7 お手玉』
ポプラ社



『月刊かがくのとも 1996年9月号
おてだまのたね 秋田・向陽幼稚園の実践
記録より』 織茂恭子//絵ポプラ社

『お手玉いくつ』
長崎源之助//作 山中冬児//絵
(株)教育画劇





開館時間	月～木：午前9時30分～午後7時
	土・日：午前9時30分～午後6時
休館日	<ul style="list-style-type: none"> ・金曜日（金曜日が祝日にあたるときは前日も休館） ・館内整理日（毎月第3水曜日） ・慰霊の日（6月23日） ・祝日（11月3日・文化の日は開館） ・年末年始 ・特別整理期間



6月

○は休館日です。

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

★毎週水曜日(第3水曜日のはのぞく)：(乳幼児対象) ぴよぴよおはなし会

◆毎月第2・4土曜日：定例おはなし会

	貸出できる資料	貸出点数	貸出期間	予約件数
貸出	本・雑誌・紙芝居	制限なし※2週間で読めるだけ (まんがセットは2点まで)	2週間	全資料合わせて30点 (そのうちAVとまんがセット はそれぞれ2点まで)
	AV(CD・DVD)	全館合わせて2点	1週間	
	インターネット利用	利用は「インターネット端末」・「館内AV」利用要領に基づきます		
	CD・DVD館内利用			

返却	どちら的那覇市立図書館でも可能です
	休館日はブックポストをご利用下さい CD・DVDは破損の恐れがあるため、直接カウンターへお返してください
	ブックポストは各図書館入口の他、那覇市役所、那覇市民協働プラザ・真和志・首里・小禄の各支所、那覇市立病院にもございます

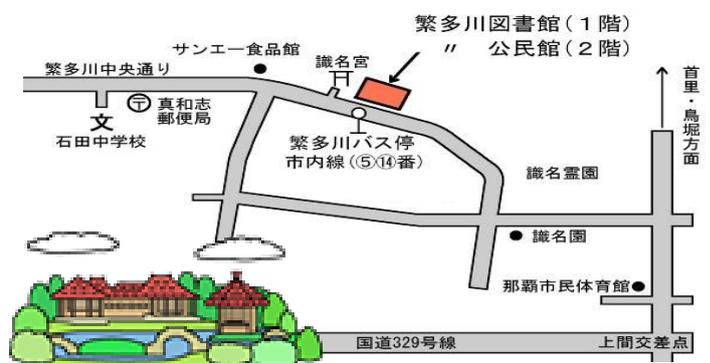
※駐車場がございません。
公共の交通機関をご利用ください。

バス案内

停留所名…「繁多川」

系統番号…5番 識名牧志線

…14番 牧志開南循環線





慰霊の日 おはなし会

～平和を祈る～



日時：6月24日(土)午後2時～2時30分

会場：繁多川図書館 広場

雨天の場合は公民館3階ホール

内容：手あそび 平和に関する絵本・紙芝居のよみきかせ
わらべ歌 などなど

無料 事前申し込み不要です。お気軽にご参加下さい。



メイン展示

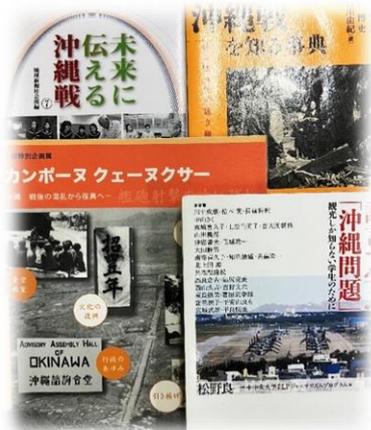
慰霊の日 平和を祈る

展示期間：6/14(水)～29(木)

読み聞かせ展示

「父の日・家族」 「平和」

展示期間：6/1(木)～29(木)



パネル展示 繁多川の戦跡（命の宿）

地域に残る戦跡（ガマ）を写真パネル等で紹介します。

展示期間 6月14日(水)～29日(木) 9:00～22:00

会場 繁多川図書館1階ロビー



平和学習フィールドワーク

繁多川地域の戦跡（ガマ）巡り

- 日時 : 6月18日(日) 10:00 スタート
集合場所 : 繁多川公民館・図書館前広場
定員 : 20名程度 事前申し込みが必要です。
申込期間 : 5月29日(月)~6月12日(月)
ただし、定員に達し次第、申込期間を締め切ります。
申込先 Tel : 098-917-3455 (繁多川図書館)
098-917-3448 (繁多川公民館)
または、直接窓口にて申し込みできます。

※当日、小雨の場合は実施しますが、荒天時の場合は中止とします。

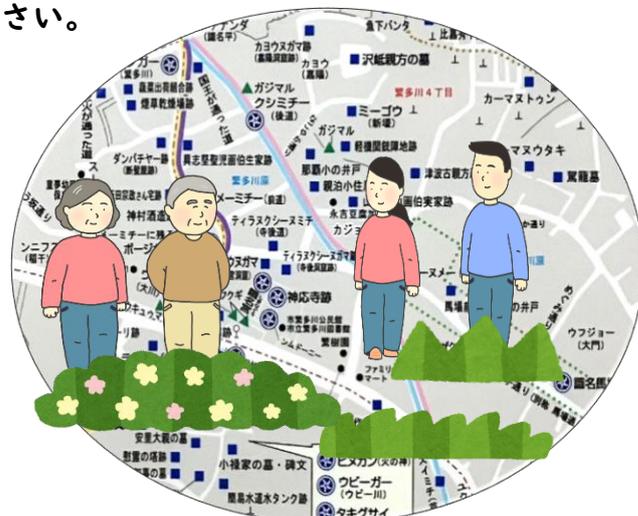
沖縄戦が終わってから78年が経ちました。その間、戦争体験者は高齢化し、今では、沖縄戦の話を聴く機会が少なくなっています。6月23日「慰霊の日」にちなみ、繁多川地域の戦跡(ガマ)巡りを開催します。その場所で、沖縄戦の証言を聴き、平和の大切さを学び、未来につなげていきたいものです。

案内・講師 : 波平元維さん 柴田一郎さん

当日のスケジュールスケジュール

- 10:00 繁多川公民館・図書館前広場集合
10:10~10:30 識名宮ガマ 見学・解説
10:30~10:45 移動
10:45~11:30 県庁ガマ 見学・解説
11:30~11:45 解散式

※当日は、汚れてもいい服、滑りにくい靴で、懐中電灯やできれば、虫よけスプレーをご持参ください。



学童疎開船「対馬丸」生存者

平良啓子 さんの 講演会

9歳の私にふりかかった事 対馬丸を語る



2023年6月17日(土)

10時30分 ~ 11時30分

会場 那覇市立繁多川公民館3階ホール

定員 : 40名ほど

参加料 : 無料

申込不要 直接会場にお越しください

プロフィール

平良啓子 (たいらけいこ)

1934年 国頭村安波に生まれる。

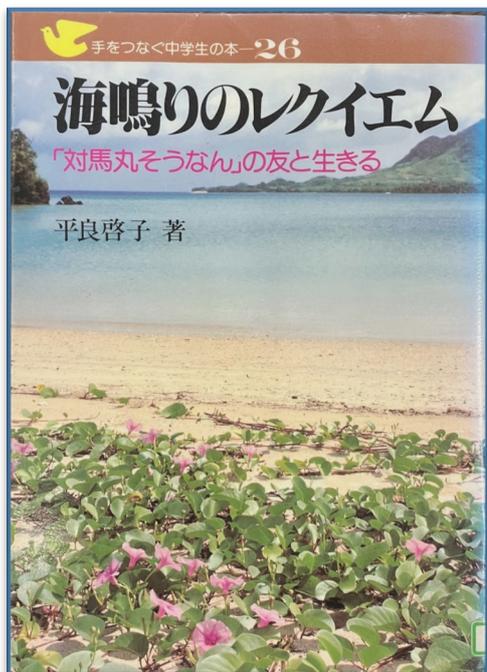
1941年 安波国民学校入学

1944年 小学校4年生(当時9才)家族と一緒に集団疎開の為、対馬丸に乗船。対馬丸撃沈後、6日間の漂流の後、奄美大島で救助され、そこで疎開生活。

1945年 帰沖、沖縄戦では山の中で避難生活。

高校卒業後、教員免許を取る。

戦後40年間小学校教員を経て、退職後も対馬丸の語り部として、その活動を続けている。

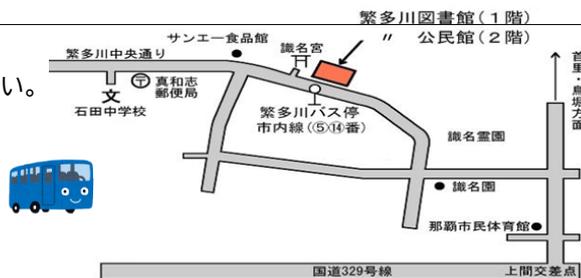


『海鳴りのレクイエム-「対馬丸そうなん」の友と生きる-』
平良啓子 著 発行年:1984年 発行所:民衆社

主催 : 那覇市立繁多川図書館
住所 : 那覇市繁多川4-1-38
電話 : 098-917-3455

※専用駐車場がございません。
公共の交通機関をご利用ください。

バス案内
停留所名…「繁多川」
系統番号…5番 識名牧志線
…14番 牧志開南循環線



那覇市立繁多川図書館は、「沖縄県子どもの本研究会」が運営しています。